



この度クラウド技術者養成協会はNPO法人になりました！
どんどん仲間を広げたい！皆様入会をご検討いただけたらと思います。
ワールズスキルズクラウドコンピューティング職種
2024年リヨン大会に向けて日本代表選手の選考会がこのあとあります。
また、12月には全国大会も開く予定です。是非ご参加ください！

クラウド技術者養成協会 理事長
東京都立大学 システムデザイン学部
情報科学科 准教授 横山昌平 先生

特別講演

『クラウドに徹することが日本を救う道』

一般社団法人日本クラウドセキュリティアライアンス副会長 渥美俊英様

自分が体験した40年余りのITの歴史、変遷
1980年代 汎用機(IBM) => ミニコン(DEC)
1990年代 オフコン => Internet, WindowsNT
2000年代 Java, OSS, コミュニティ
2010年代 クラウド, コミュニティ拡大
数年に1度のITトレンド
=> 金融先進事例は、他業種へインパクト大
50代半ば、かつてないIT変革旗手のクラウドに出会う

皆さん、クラウドって何でしょう？
-> 従来のIT: オンプレミス(on-premises)
・情報システムのハードウェアを使用者が保有
・自社が外部データセンター等に設置し運用管理
・5年償却でハードウェアを新たに入替 (システム更改)
-> クラウド: 2006年 Google シュミットCEO 提唱
・クラウド事業者が極めて大規模に資源を保有
・資源=コンピュータ、ストレージ、NW、施設、電源、運用保守
・利用者は、ネットワークを通してサービスとしてインフラを利用
・必要な時に、必要なだけを、随時に利用、時間で支払

最近の TVCM から知るクラウドが支える社会
朝日新聞 2023/1/9(月)
「最初の砲撃」米ITが察知
ウクライナへの攻撃はサイバー空間で放たれた

最初の砲撃「米IT」が察知
侵攻強まる国家との連携

この40年余りの間、何度もIT革命が起こってきたが
2010年代に出てきたクラウドは、どの革新よりもインパクトのあるもの
クラウドは従来のデータセンターやサーバーを運用管理することなく、インターネットで
買い物するように、自分の必要なサービスを必要な時必要なだけ最小のコストで利用する
ことができる
クラウド市場成長率33% トップ5社がどんどん伸びてシェアが増えている現状
AWSサービスの中でも
機械学習 分析 開発者用ツール セキュリティ 管理とガバナンス
が急速に伸びている
ミサイル攻撃もクラウドが守る
ウクライナ侵攻が始まった2022年2月24日
AWSはAWS Snowball を持ち込み、クラウド移行を支援
決済もクラウドでオンラインで行われている
日本はデジタル競争力 28位 残念ながらIT後進国になってしまっている
この30年変化していない
ITの投資をしてこなかった背景がある
ITで社会を支える クラウドを徹底的に使いこなすことが日本を救う

自己紹介
久保玉井 純 (くぼたまいじゅん)
-> 株式会社サーバーワークス
-> 前職: 専門学校の教師
-> AWS歴 4年
-> 好きなAWSサービス: Amazon Route 53
-> AWS 認定インストラクター

classmethod
・技術ブログ DevelopersIO
・エンジニア情報共有コミュニティ Zenn
・AWS 技術支援
SI Partner of the Year 2022+ 最優秀
最上位パートナー 8年連続
年間サポート 2万件
AWS 上位資格数 1250
AWS ノバの比率 2万+

クラウドに目覚めたきっかけとそ
・2013年3月 JAWS-UG初参加
・開発から運用一人で行える
今、学生に戻るなら何をしたいですか?
・英語の読み書きのスキルUP
・数学のスキルUP
または今、教育に求めることは?
・最新環境の機会を与える
クラウドスキルの学びを含め若い方に期待することとアドバイスをお願いします
・これからもテクノロジーは変化し続けます。過去の経験にとらわれずに飛び込んでいきましょう。

久保玉井様
学校でサーバー管理
リースup 時入れ替え大変だった! -> 2018年AWSへリフトup
なにこれ!すごい!!
クラウドはすぐ入れられて、いらなくなるとやめられる☆
クラウドって楽しいな♥

平野様
10年前にクラウドに出会う
2013年3月にAWSの勉強会に参加(後藤さんもその一人)
暑い人がいっぱいやってきた!面白い!!!
クラウドがあると、フロントもバックもどちらもできる
いろんな可能性を持っていると感じた

Q.クラウドに目覚めたきっかけは?

後藤様
平野さんと会った当時、売れないバンドマンのように
全国各地を周ってAWSの勉強会を開催
色々な勉強をする中で、AWSは便利すぎて面白いと思った
ソフトウェアのエンジニアだったので、ハードウェアは苦手だった
-> AWSサービスはサーバーがすぐ使えた
メディアサービス(映像配信)が好き

渥美様
2011年震災の時、募金が集まった日本赤十字社のサーバーがダウン
-> 日本にやってきていたAWSはボランティアで移行
サーバーワークス様をはじめ企業様や日本のボランティアエンジニアの
力で対応。決済もできた!コミュニケーションと技術の力。

iret
アイレット株式会社
執行役員 / エバンジェリスト 後藤 和貴
経歴
筑波大学 第三学系 情報学類 1995年卒
日本オラクル -> Oracle Corporation - 国際化ソフトウェアエンジニア
アイレット株式会社 - エバンジェリスト / 執行役員 (現職)
デジタル庁 プロジェクトマネージャー
公正取引委員会 デジタルアナリスト (現職)
テクノロジーと私
・小学時代からパソコン体験 -> 中高と遊びでプログラミング継続
・大学時代にコンピュータサイエンスとUI (少し) 学ぶ + インターネットに出会う
・US時代にインターネットがビジネスであったり前の時代が変わる瞬間を体験
・技術革新の10年、インターネット技術開拓 -> クラウドビジネス立ち上げ

渥美 俊英 (あつみ としひで)
一般社団法人日本クラウドセキュリティアライアンス 副会長
https://www.cloudsecurityalliance.jp/site/
JASA-クラウドセキュリティ推進協議会 (JCISPA) アドバイザ https://jcispa.jasa.jp/
AWSユーザ会 (Fin-JAWS支部) 運営メンバー
https://fin-jaws.compass.com/
1984年 筑波大学第2学群農林学類卒業後、電通国際情報サービスに入社。銀行、証券の金融システム開発を経て、技術統括部長として研究開発、ソフトウェア品質向上、人材育成、セキュリティを専門分野とし、インターネットバンキングなど重要プロジェクトの提案から技術支援に従事。2000年頃からオープンソースコミュニティ支援、2010年頃からクラウドに強い関心を持ち、以来クラウド利用推進に徹底注力。2015年に定年退職後、AWSジャパンに入社、エンタープライズ エバンジェリストとして、金融、製造など厳しい大手ユーザー企業の幹部向けにクラウドの価値をご理解いただく活動に従事。現在は、クラウドに注力する企業数社の顧問役、およびクラウド推進団体の活動に従事。68歳でも変わらずクラウド推進役として、半分は自分へのInput、半分は世の中へのOutputの日々を送っています。



新しいものの情報は英語が多い
 ディスカッションは英語でできるとよい
 最先端のテクノロジーを使いこなして欲しい
 職人として技術を使いこなす≠新しいサービスや
 テクノロジーに真摯に取り組めるか
 専門外でも触ってなにができるか理解して欲しい
 学校教育の中でチャレンジできるといいな



好きなことを思う存分徹底的に！
 仕事も遊びも極めると人生楽しい！
 なんでもやってみるしかない
 世の中を知るために
 ・趣味
 ・社会を知る(多様性に目を向けてボランティアも○)
 ・世界遺産 温泉 寺社仏閣 実際に行ってみる
 知識を得ると多角的にみれる 謳歌して欲しい

Q.いま学生に戻るならなにをしたいですか？また、教育に求めることはなんですか？



海外留学したい！
 ・英語/テクノロジー/世界を広げる
 AWSトレーナーの会議も英語
 ITの世界も進化して細分化
 →自分の幅を広げることが大切
 ITの軸だけでなく自分の面白そうな軸を増やす



英語の読み書きと数学
 仕事も英語でのコミュニケーション
 チャットではリアルタイム性が大事
 的確に突っ込めるように！
 数学も理解するスピードを上げて自然に読めるように
 楽しいと学べる→楽しい環境作りを
 最新環境を学生さんに提供して欲し
 時間がある今、いろんなことを試して欲しい



息を吸うように学んでさわる
 自然に面白いことが仕事になる環境作りを
 好きなことを軸にやりたいことを仕事にしてきた
 Work Life Technology
 自分のやっていることが社会の役に立っていると
 感じつつ→自分の仕事の発展につながったらいいな
 仕事と趣味とか分けずにやる



社会人になると時間が取れない！
 時間を最大限に使ってください
 クラウドに徹する会社を探すのが重要
 コンピュータのお守りでなくクラウドをつかいこなす
 就職活動のヒント:パートナー中の上位にある会社
 AWSサミットに登壇している会社など
 ITに徹する会社を選んでね

Q.若い方に期待すること/アドバイスを



実際に将来を妄想してみる
 どこにすんで？何の仕事？職種は？
 →これからにキャリアを考える
 →今なにをすべきか考えられるようになる
 学校設備にお悩みの先生方にもお役に立てるかも



過去の経験にとらわれずに飛び込んで行く
 常に前向きに 楽しみながらやっていく
 ねばべきは勿体無い！
 結果はお客様に喜んでもらえること
 見つけたものは信じて突っ走る



クラウドを触って応用できる訓練を
 ハードウェア一式をやる→クラウドへ
 こんなに便利？簡単？を実感できる



IT人材クラウド人材は足りない！
 コンピュータの専門家≠コンピュータを使いこなせる
 楽しむところから入ればいい
 クラウドはあくまで道具 価値から入る

Q.質疑応答：学生対してクラウドの面白さを伝えるには？魅力は何でしょうか？



『社会に役立つもの』と伝えても
 学生さんには響きにくいかも
 →面白さにくいついてくる？
 Webサイトをつくる/アプリ作ってみる
 →成功体験+社会に役立つをセットに



プログラミングを学ぶだけでは周りを喜ばせるのは難しい
 クラウドは道具がいっぱいあるホームセンターのようなもの
 クラウド+プログラミング=お客様に喜んでもらえる
 困っている人を助けられる
 その組み立て方を学生時代に体験するといいな